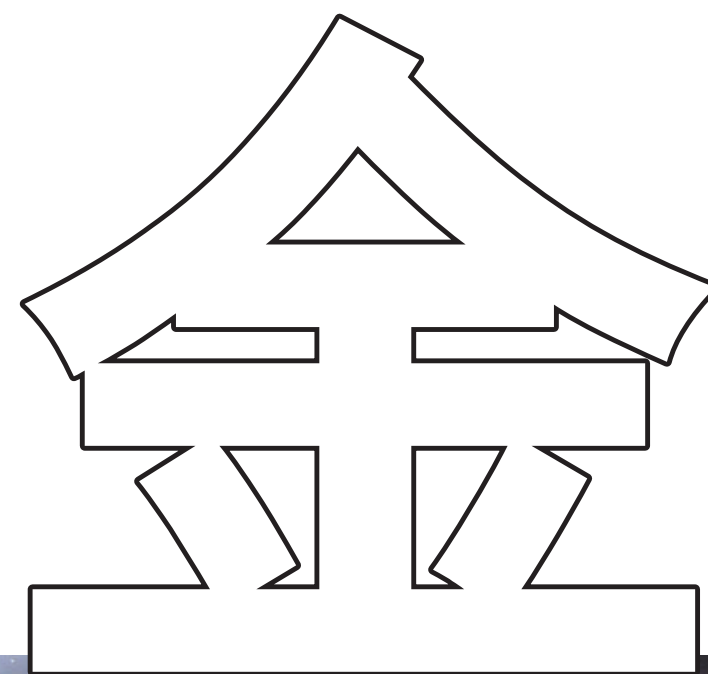


桜井

育英大助手



レスリング
女子57^{kg}級



女子57^{kg}級で金メダルを獲得し、日の丸を掲げる桜井つくみ＝パリ（共同）



【パリ共同】パリ五輪第15日の9日、レスリング女子57^{kg}級決勝で初出場の桜井つくみ(22)＝育英大(高崎市)助手Ⅱがアナスタシア・ニキタ(モルドバ)を下し、金メダルを獲得した。中量級で4連覇の伊調馨、2連覇の金城梨紗子が築いた栄光の系譜を継ぐ優勝だった。

高知県出身。スタミナと組み手の強さを持ち味に、世界選手権は2021年が55^{kg}級、22、23年は57^{kg}級で制覇した。金城を破るなどしてパリへの切符を獲得。第1シードとして粘り強く闘い、強さを証明した。

手堅い試合運びで、準決勝では2016年リオデジャネイロ五輪53^{kg}級覇者のマルーリス(米国)に10-4で完勝。決勝戦でも力の差を見せつけた。